

国語(その一)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

Ⅰ 次の文章は、福岡伸一『生物と無生物のあいだ』の一部である。これを読んで、問い(問一～問八)に
答えなさい。

たった四文字しかない

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語(その二)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

国語(その三)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

枠内については、許諾の都合により、文章と問題の掲載を省略します。

※福岡伸一『生物と無生物のあいだ』(講談社、二〇〇七年)より引用、一部中略し、読み仮名を付した。

注1 陥穽…かんせい落とし穴、わな。

問一 (ア)～(コ)の傍線部のうち、カタカナは常用漢字に改め、漢字の読みはひらがなを用いて、それぞれ回答欄に記入しなさい。

国語(その四)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問二 傍線部 (a) (b) (c) (d) の意味として、文脈上最も適当なものを、以下の①～⑤からそれぞれ一つ選び、番号で答えなさい。

(a) うどの大木

- ① 身体が大きく、頼りになる存在
- ② 独活うどのように淡泊で大らかな心を持つ存在
- ③ 身体は大きい、目立たない存在
- ④ 身体ばかり大きくて、役に立たない存在
- ⑤ 独活うどのように大きく成長し、模範となる存在

(b) 容赦なかった

- ① 手加減してくれなかった
- ② 誠実ではなかった
- ③ 負けを認めなかった
- ④ 聞く耳を持つてくれなかった
- ⑤ 無視し続けた

(c) 紐解く

- ① 整理する
- ② 発展させる
- ③ 判定する
- ④ 調べる
- ⑤ 開いて読む

(d) (与くみ) 与くみできない

- ① 反対できない
- ② 味方できない
- ③ 余地がない
- ④ 理解できない
- ⑤ 疑問に思う

国語(その五)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問三 傍線部(一)「DNA」を、エイブリーはどのようなものであると実証しようとしたか。最も適当な表現を、本文中から九文字で抜き出し、解答欄に正しく記しなさい。

問四 傍線部(二)「純度のジレンマ」の説明として、本文の内容と合致しないものを、以下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 生物試料には、どのような場合であっても、常に微量の混入物がつきまとう。
- ② 生物試料は、どんな努力を行って純化したとしても、100%純粋ではありえない。
- ③ S型菌から取り出してきたDNAには、そこに付着しているさまざまなタンパク質や膜成分が一緒に存在しているはずだ。
- ④ DNAのような単純な構成の物質には遺伝情報が担えるはずがなく、細胞内の構造を支える程度の役割しかない。
- ⑤ たとえ、DNA試料を99.9%まで純化したとしても、残りの0.1%のコンタミネーションに真の作用があるのかもしれない。

問五 傍線部(三)「このようなモザイク性」のなかから、筆者が学んだこととして、文脈上最も適当なものを、以下の①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 筆者の入学した大学は、はじめに勉強して専門課程へ進む学生がいる一方、自由気ままに学生生活を送った結果、単位が足りず、卒業できない学生もいたことから、無生物と同じく、生物としての人間にもさまざまな「ふるまい方」の選択肢があることを学んだ。
- ② 筆者の入学した大学は、当時は学年の進級に関して制約がなかったため、四年生になってから、あわてて卒業単位をそろえる自堕落な学生もいたが、そうした、ある意味でのんびりとした学生生活をも許容する、大学や教員の「ふるまい方」に感銘を受けた。
- ③ 筆者の入学した大学では、当時は一年生の教養課程のクラスに四年生が少なからず混じっており、彼らの知識によって、無生物を主語とする「behavior」の日本語訳から「物質のふるまい方」という認識が生まれ、記憶にのこる学びを得た。
- ④ 筆者の入学した大学は、当時は一年生の教養課程のクラスに、単位不足の臍^{うろた}長けた四年生が少なからず混じっており、自らの「ふるまい」の結果にあわてた彼らが、あえて「教養がじゃまする」と称していたことが、私の引き出しに大切にしまわれた。
- ⑤ 筆者の入学した大学は、当時は一年生の教養課程のクラスに、単位不足の四年生が少なからず混じっていたが、彼らの発言から「物質のふるまい方」という認識を得たことから、異なる意見にも素直に耳を傾ける姿勢を学んだ。

問六 DNAの純度と形質転換作用の強さとの関係を調べる際、傍線部(四)「純化のプロセスと試料の作用との間に同じ『ふるまい』方が成り立つことを証明すればよいのである」とある。このように、ある量に変化すると、それに応じて別の量も変化する動きのある関係を、筆者はどのようなことばで表現しているか。最も適切な語句を、本文中から七文字で抜き出し、解答欄に記入しなさい。

国語(その六)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問七 傍線部(五)「自分の手で振られている試験管の内部で揺れているDNA溶液の手ごたえ」を端的に言い換えた表現を、本文中から五文字で二つ抜き出し、それぞれ解答欄に正しく記しなさい。

問八 次の①～⑧は、本文を読んだ後に学生八人がそれぞれ述べたものである。①～⑧は次の「A」「B」「C」のどれに該当するか。それぞれ該当するものを一つ選んで、解答欄に記しなさい。

「A」…本文の内容と合致したことを述べている

「B」…本文の内容を間違えてとらえて述べている

「C」…話者独自の見解として述べている

①発見や発明がひらめきやセレンディピティによってもたらされるようないい方があるけど、むしろ直感の研究の現場では負に作用すると思うよ。

②セレンディピティとは「ものをうまく見つけ出す能力」のことであって、「能力」をもつことと、直感やひらめきが生じることとは別のことなので、直感、ひらめきとセレンディピティとは一応区別しておくのがよいと思います。

③これはこうに違いないという直感は、多くの場合、自然界の本来のあり方と離れていたり異なったりしている潜在的なアイデアや単純な図式の産物だよ。

④形質転換物質の問題でいえば、直感の悪しき産物とは、それは複雑なタンパク質に違いなく、DNAであるはずがないという思考のことだね。

⑤ミルスキーはエイブリーの説に対して、タンパク質分解酵素やDNA分解酵素で試料を処理する実験を行って反論したんだね。

⑥「～に違いない」という思考こそが、直感の悪しき産物なら、「悪しき産物」とは、直感で生じたものへの、思い込み、とられ、執着であり、直感そのものとはいえないんじゃないかな。直感やひらめきに研究のスタートがあるかもしれないよ。

⑦エイブリーは、DNAという物質には生命の形質を転換する働きがあると最初から考え、実験を繰り返し注意深く行ったんだね。

⑧エイブリーが、タンパク質分解酵素で試料を処理する実験と、DNA分解酵素で試料を処理する実験を行うと、DNA分解酵素で処理した場合、試料に形質転換作用が残っていたんだね。

国語(その七)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

Ⅱ 次の文章は、『更級日記』において、作者が東国から上京する旅の途中での一場面である。これについて、

以下の問い(問一～問五)に答えなさい。

足柄山^{あしがやま}といふは、四五日(ア)かねておそろしげに暗がりわたれり。(イ)やうやう入り立つ麓のほどだに、空のけしき、はかばかしくも見えず、えもいはず茂りわたりに、いとおそろしげなり。麓に宿りたるに、月もなく暗き夜の、闇にまどふやうなるに、遊女^{あそびみたり}三人、いづくよりともなくいで来たり。五十ばかり(ア)なる一人、二十ばかりなる、十四五なりとあり。庵の前にからかさをささ(ブ)世てすゑたり。をのこども、火をともして見れば、昔、こはた^まといひけむが孫といふ。髪いと長く、額いとよよくかりて、色白くきたなげなくて、さてもありぬべき下仕^{しもつか}へ^ま。などにもありぬべしなど、人々あはれがるに、声すべて似るものなく、空にすみのぼりてめでたく歌をうたふ。人々(ウ)いみじうあはれがりて、けちかくて、人々もて興ずるに、「西国^{にしこ}の遊女はえかから(シ)」などいふを聞きて、「難波^{なにわ}わたりにくらぶれば」^{註4}とめでたくうたひたり。見る目のいときたなげなきに、声さへ似るものなくうたひて、(一)さばかりおそろしげなる山中にたちてゆくを、人々あかず思ひてみな泣くを、をさなきこころには、(三)ましてこのやどりをたたむことさへあかずおほゆ。(中略)

美濃の国なる境に、墨俣^{すのまた}といふ渡りして、野がみ^まといふ所に着きぬ。そこに遊女どもいで来て、夜ひとよ歌うたふにも、(二)足柄^{あしが}なりし思ひ出でられて、(エ)あはれに恋しきことがぎりなし。(後略)

※『更級日記』より引用

注1 足柄山…神奈川県と静岡県の間を南北に走る連峰。

2 こはた…「小幡」か。多少とも名を知られた遊女と考えられる。

3 下仕へ…宮廷の下女。

4 「難波^{なにわ}わたりにくらぶれば」…当時の今様歌を、とつさに機転を利かせて改作した歌と考えられる。

5 墨俣…岐阜県大垣市墨俣町あたりをさす。

6 野がみ…野上。岐阜県の垂井と関ヶ原の中間付近に位置する。

問一 傍線部(ア)～(エ)の現代語訳として、文脈に最も合致するものを、次の①～④からそれぞれ選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|----------|---------|--------|--------|-----------|
| (ア) かねて | ① 以前から | ② 異常に | ③ もともと | ④ 全体的に |
| (イ) やうやう | ① つくづく | ② よろよろ | ③ だんだん | ④ それぞれ |
| (ウ) いみじう | ① 熱心に | ② かえって | ③ 平然と | ④ 並々でなく |
| (エ) あはれに | ① あっけなく | ② 不思議に | ③ 珍しく | ④ しみじみ悲しく |

問二 傍線部(a)「なる」、傍線部(b)「せ」、傍線部(c)「じ」の助動詞の用法を、それぞれ正しく記入しなさい。

問三 傍線部(一)「さ」が示す具体的な内容として、文脈上最も適当な表現を、本文中から三十八文字で抜き出し、回答欄に正しく記入しなさい。

国語 (その八)

(注意 解答はすべて解答用紙に書くこと)

問四 傍線部(二)「足柄なりし」の後に省略されている語として、文脈上最も適当な語を、本文中から二文字で抜き出し、
回答欄に正しく記入しなさい。

問五 傍線部(三)「ましてこのやどりをたたむことさへあかずおぼゆ」という作者の思いの説明として、本文の内容に合
致するものを、以下①～⑤から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 足柄の遊女と別れるのが名残惜しいのは言うまでもなく、この宿を出発することまでが心残りに思われた。
- ② 足柄の遊女の素晴らしい歌声に満足したことは言うまでもなく、この宿も心置きなく出発できると思った。
- ③ 足柄の遊女の歌声が素晴らしかったため、なおさら西国の遊女にも会いたくなり、早く出発したいと思った。
- ④ 足柄の遊女を下女にしたかったが、断られて残念なのはなおさらのこと、宿を出発するまでが心残りだ。
- ⑤ 足柄の遊女と一緒に、自分も山の中に住みたくなったため、この宿を出発することが嫌になった。

志望学科名	学科
受験番号	

II		I												
問四	問三	問二	問一	問八	問七	問六	問四	問三	問二	問二	問二	問一	問一	問一
		a	ア	⑤	①				a	コ	キ	エ	ア	
										み			なった	
問五		b	イ	⑥	②		問五		b		ク	オ	イ	
											らして			
		c	ウ	⑦	③				c		ケ	カ	ウ	
											して	な	な	
			エ	⑧	④				d					

国語 解答用紙 (注意 下端の※印欄は使用しないこと)

令和八年度 岐阜市立女子短期大学 一般選抜Ⅰ 入学試験

合計	※
----	---

II	※
----	---

I	※
---	---

志望学科名	学科
受験番号	

国語 解答用紙 (注意 下端の※印欄は使用しないこと)

I

問一

ア	つらな	ア	到底	ウ	やっかい
イ	な	イ	な	ウ	な

問二

エ	謙虚	オ	破壊	カ	じだら
キ	あげ	ク	凝	ケ	よう
コ	いな	ク	ら	ケ	して
ク	み	ク	して	ケ	して

問三

ア	④	ア	⑤	ア	②
イ		イ		イ	
ウ		ウ		ウ	
エ		エ		エ	
オ		オ		オ	
カ		カ		カ	
キ		キ		キ	
ク		ク		ク	
ケ		ケ		ケ	
コ		コ		コ	

問四

ア	④	ア	③
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問五

ア	①	ア	⑤
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

遺伝子の物質的自体

問六

ア	④
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	

動的な相関関係

問七

ア	①	ア	③
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問八

ア	①	ア	④
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問九

ア	⑤	ア	⑧
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

II

問一

ア	①	ア	④
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問二

ア	推定	ア	④
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問三

ア	空	ア	④
イ	の	イ	
ウ	け	ウ	
エ	し	エ	
オ	き	オ	
カ	、	カ	
キ	は	キ	
ク	か	ク	
ケ	ば	ケ	
コ	か	コ	
ク	し	ク	
ケ	く	ケ	
コ	も	コ	
ク	見	ク	
ケ	え	ケ	
コ	ず	コ	
ク	、	ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問四

ア	遊	ア	①
イ	女	イ	
ウ		ウ	
エ		エ	
オ		オ	
カ		カ	
キ		キ	
ク		ク	
ケ		ケ	
コ		コ	

問五

ア	①
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	
ケ	
コ	

I
※

II
※

合計
※